

ヒューマンリソシア株式会社

ユーザー向けの研修開発で RPA普及に貢献

事務系の人材派遣を中心に事業を展開している総合人材サービス会社ヒューマンリソシアでは、WinActorの操作・シナリオ作成に関する教育プログラムをNTTデータと共同開発、2017年からユーザー向けの研修として提供を開始している。

2019年3月現在、全国に9カ所のトレーニングセンターを展開、参加企業は750社以上、受講者数は約5000名にのぼる。

事務職の人にも分かりやすい研修カリキュラムを開発

ヒューマンリソシアでRPA事業本部企画開発部長を務める岡本哲英氏は、「人材恐慌時代が到来しています」と危機感を示す。人材派遣の需要は増えているが、総人口の減少や少子高齢化などにより、人材の確保はますます難しくなっているという。その代替策として同社が注目したのが、RPAだった。

「人材の採用が難しいのであれば、派遣スタッフとRPA双方の活用を顧客に提案することで、必要とされる労働力を提供できるの

ではないか」と考えたからである。

こうして、派遣スタッフが担っていた定型業務の一部はRPAに、より専門的かつ人でしか対応できない業務は派遣スタッフが担当するという新たな発想でサービスの開発が始まった。また、RPAサービスの事業化にあたり、「IT部門やエンジニアのみではなく、事務職など幅広い人が利用できるツール」という視点からRPAツールを検討し、ユーザーフレンドリーな仕様で純国産のWinActorを選定した。

研修の開発・提供に携わるようになったのは、NTTデータから教育プログラムの共同開発を提案

されたのがきっかけだった。ヒューマンアカデミーを中心に「教育」がコアコンピタンスであるヒューマングループは、豊富な教材カリキュラム開発のノウハウを持つ。同社でもこれを活用し、エクセルやワード、さらには建築図面作成の2次元・3次元CADなど、派遣スタッフ向け研修カリキュラムを開発し教育を提供している。このような背景からWinActor研修の共同開発は時を待たずして始まり、同社のRPA事業を推し進めることとなった。

まずは同社社員が、当時開催されていた約3時間の講習を受け、それをベースにカリキュラムのリニューアルを練ることになった。参加メンバーは4名。「WinActorのシナリオ開発は、現場にいるエンドユーザーが自立的に行うことが望ましい」という考えに基づいて、1名を除いては、普段プログ

ラミングやシステム開発とは縁遠い仕事に携わっている社員が選ばれた。

4名は「システム開発などの経験がある人なら良いが、事務職の人が理解するのは難しいのではないか」という印象を受けた。

そこで、講習内容を噛み砕き、順を追って進めることで、誰もが理解できるようなカリキュラムを目指した。開発経験のないメンバーである自分たちが指標となつて難易度を調整しながら、約3カ月をかけて完成させたのが、別表にある「WinActorシナリオ



ヒューマンリソシア株式会社
RPA事業本部 企画開発部長
岡本 哲英氏

作成技術者養成研修」だ。

初級ではWinActorとはどういうもので、何ができるのか、代表的な機能にはどんなものがあるのかなどの概要を、中級ではWEBブラウザとエクセル間でのデータ連携を題材に、具体的なシナリオ開発を、そして上級では詳細な機能や活用方法を学ぶことができる。「研修はおおむね好評をいただいております、一社から毎月数人ずつ受講されたり、中には2カ月間で80名のお申込みをされたお客様もい

らっしゃいました」（岡本氏）

eラーニングや検定運営などで RPAの普及と浸透を図る

この研修の他に、同社では2018年7月にオンラインサービス「WinActor eラーニングコンテンツ」の提供を開始した。WinActorユーザーが悩んだり手こずったりしやすいことを動画に仕立て、「RPA入門講座」「これで解決！WinActorシナリオ作成講座（よくある操作編）」の2つのコンテンツを提供している。

また「RPA技術者検定」（WinActor）の運営も同社が行っている。これはユーザーの技術習得レベルを客観的に評価することを目的としたもので、WinActorについての知識を問わ

れる「アソシエイト」、シナリオ作成からテスト稼働までの実技試験を行う「エキスパート」などのランクがある。アソシエイトは2019年3月現在既に2000名以上、エキスパートも約900名以上が受験しているとのことだ。将来的にはこの検定の合格証を持つことができるが、職場においての一つのステータスになるかもしれない。

RPA浸透後も派遣スタッフが活躍できる場を生み出すために

ヒューマンリソシアでは他にも、顧客先にエンジニアが出向いて、シナリオ開発や運用体制づくりなどを支援する「オンサイトサポート」を行っているが、需要に対してシナリオ開発エンジニアの数が不足しているのが実情だという。

そこで、企業向け研修ノウハウを活かし、同社の派遣スタッフ向けの研修プログラムを独自開発し、シナリオ作成スキルを身に着けた派遣スタッフを顧客先に派遣する「RPAエンジニア派遣サービス」の本格展開を始めた。これは「業務を自動化したいが、RPAを使

える人材がない」という企業ニーズに比べるとともに、事務職を中心に仕事をしてきた派遣スタッフに、新たな活躍の場を提供するためにも岡本氏は言う。「RPAが自分たちの仕事を奪うのではないかと、という危機感を持つ方もいます。しかしRPA浸透後には、『シナリオをつくった社員が退職してしまい、管理やメンテナンスをできる人材が必要だ』というニーズも生まれてくるはず。その時のためにも、当社に登録してくれている派遣スタッフの方々にRPAを学べる機会を提供し、キャリアアップ支援を拡大させていきたいと考えています」（岡本氏）

「WinActorシナリオ作成技術者養成研修」

コース	初級	中級	上級
対象者	WinActorに初めて触れる方	基本操作および簡単なシナリオ作成ができる方	中級研修受講者もしくは同等スキルをお持ちの方
概要	基本的な機能の説明とともに、簡単なシナリオ作成を通じて使い方の理解を深めます	実践的な例題によるシナリオ作成・講師による解説を通じ、効果的なシナリオ作成を実現するための知識を養います	中級までに習得した機能を活用したより実践的なシナリオ作成スキルを学び、自立して作成ができる力を養います
時間	7時間×1日	7時間×2日	7時間×1日
受講料 (税別)	30,000円/人	50,000円/人	50,000円/人

お申込みはWEBサイトから。

ヒューマンリソシア RPA 研修

<https://resocia.jp/corporate/solution/rpa/training/>



トレーニングセンターでの研修風景。トレーニングセンターは現在、札幌、仙台、東京（銀座・高田馬場）、名古屋、大阪、広島、福岡、那覇の全9カ所。

問い合わせ先



ヒューマンリソシア株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25
西新宿プライムスクエア
TEL 03-6894-3317
URL <https://resocia.jp>